


# 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 2019年 3月 10日～2019年 3月 10日

活動名	「SONG OF THE EARTH FUKUSHIMA 311」@J ビレッジへの出展	
活動団体名	「森里*皮*海」プロジェクトチーム	
活動目的	2019年3月10-11日に開催された福島復興応援イベントにて、「森里川海プロジェクト」にも賛同している「木戸川漁業協同組合」と連携し、持続可能な資源としての「木戸川の鮭」の魅力を紹介するため、ブース出展をした。	
活動内容	<p>イベントでは、来場者へ震災の影響で鮭漁が中断された状況からの復活までのストーリーの他、鮭の魅力や鮭皮の活用について紹介した。</p> <p>具体的には以下の活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りの「紙芝居」で鮭漁再開の物語の紹介</li> <li>・資源（ここでは鮭の命）を無駄にしないため、鮭を皮まで活用してきた日本の文化についての紹介</li> <li>・通常は廃棄される食べた後に出る「鮭の皮」を使ったアクセサリーづくりのワークショップを実施</li> </ul>	
活動写真		
写真説明	檜葉町、森里川海ブースとも連携	手作り紙芝居で子どもたちへ紹介
活動効果	思ったより地元の方が多く来られており、毎年当たり前のように遡上する「木戸川の鮭」について、食べるだけではなく「皮」まで活用できるということについて関心をもって聞いていただけた。また、「木戸川の鮭」を地元檜葉町のブランドとして意識してもらうことに貢献できたと思う。	
今後の展望	「木戸川の鮭」について、持続可能な資源としての利用を確立させるため、「木戸川の鮭」のブランド活かしての販売を定着させたい。また、廃棄されていたものを新しい資源として活用する目的で、鮭を皮まで活用していたかつての日本文化を復活させ、「鮭皮」を活かす取り組みが地域に根付くよう引き続き活動していく。	